

日本医療検査科学会

第36回春季セミナー公告(第2報)

テーマ：PHRと臨床検査－個別化医療における検査医学の役割－

例会長：末岡 榮三郎 佐賀大学医学部臨床検査医学講座 教授
佐賀大学医学部附属病院検査部・輸血部 部長

会期：令和4年4月17日(日)

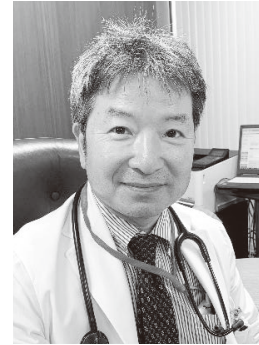
会場：ホテル グランドはがくれ
〒840-0815 佐賀県佐賀市天神 2-1-36
TEL：0952-25-2212

参加費：2,000円

各種委員会：令和4年4月16日(土)11:00～18:00

ホテル グランドはがくれ(背振の間、多良の間など)

プログラム委員会、理事会、学術委員長会議、科学技術委員会、POC技術委員会、
遺伝子・プロテオミクス技術委員会、血液検査機器技術委員会、医療情報委員会、
微生物検査・感染症委員会、生理検査委員会、国際交流委員会、編集委員会、
認定POCC WG、遺伝子・プロテオミクス WG



————プログラム概要————

開会の挨拶

理事長 和田 隆志 金沢大学 腎臓内科学・腎病態統御学 教授
例会長 末岡 榮三郎 佐賀大学臨床検査医学講座 教授

【シンポジウム1】 9:00～11:00

「ビッグデータ利活用とPHR構築に必要な課題と取り組み」

- 検査データの標準化から精度管理
- 検査データの共有化のしくみの構築
- ビッグデータの利活用の推進
- 地域医療における医療情報の連携

【招請講演I】 11:00～11:50

座長 松下一之 千葉大学医学部附属病院 検査部 部長
がん遺伝子パネル検査はがん医療をどのように変化させたか(仮)
豊岡 伸一(岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科学 教授)

【ランチョンセミナー】 12:00～13:00

【機器・試薬セミナー】 13:00～14:20

【シンポジウム2】 14：20～15：20

座長 橋口照人 鹿児島大学医学部 循環器・呼吸器病学講座 教授
「臨床現場への AI/Deep learning の導入はどこまで進んだか？」

【招請講演Ⅱ】 15：20～16：00

佐賀県における糖尿病対策と PHR
安西 慶三(佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・代謝内分泌 教授)

閉会の挨拶 16：00～16：10

例会長 閉会の辞
末岡 榮三朗 佐賀大学臨床検査医学講座 教授
次期大会長ご挨拶
日高 洋 大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 部長
次期例会長ご挨拶
藤巻 慎一 東北大学病院 診療技術部 部長

事務局：日本医療検査科学会(旧：日本臨床検査自動化学会)第36回春季セミナー事務局
〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1
佐賀大学医学部附属病院検査部・輸血部内
TEL：0952-31-6511(内線3242) FAX：0952-34-2028
E-mail：sm2164@cc.saga-u.ac.jp